

# TC エンドポイントでのカメラ プリセットの設定

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[オプション 1: ハンドヘルド リモートコントロールを使用したプリセットの設定](#)

[オプション 2: タッチ パネルを使用したプリセットの設定](#)

[Touch 8 の使用](#)

[Touch 10 の使用](#)

[オプション 3: CLI コマンドを使用したプリセットの設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

このドキュメントでは、TANDBERG Codec ( TC ) エンドポイントでカメラ プリセットを設定する方法について説明します。

カメラ プリセットとは、カメラのパン、チルト、ズーム、フォーカス ( PTZF ) の希望する位置を事前に保存した値です。カメラを移動し、特定のポイントをフォーカスし、これをプリセットとして保存しておき、後でコール中にプリセットを呼び出すことができます。これは、参加者が座るさまざまな席にカメラを向ける場合や、クラスのホワイトボードにカメラを向ける場合に使用できます。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- タッチ パネルとリモート コントロールの使用法
- TC ソフトウェアのアプリケーション プログラム インターフェイス ( API ) /コマンド ライン インターフェイス ( CLI )

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

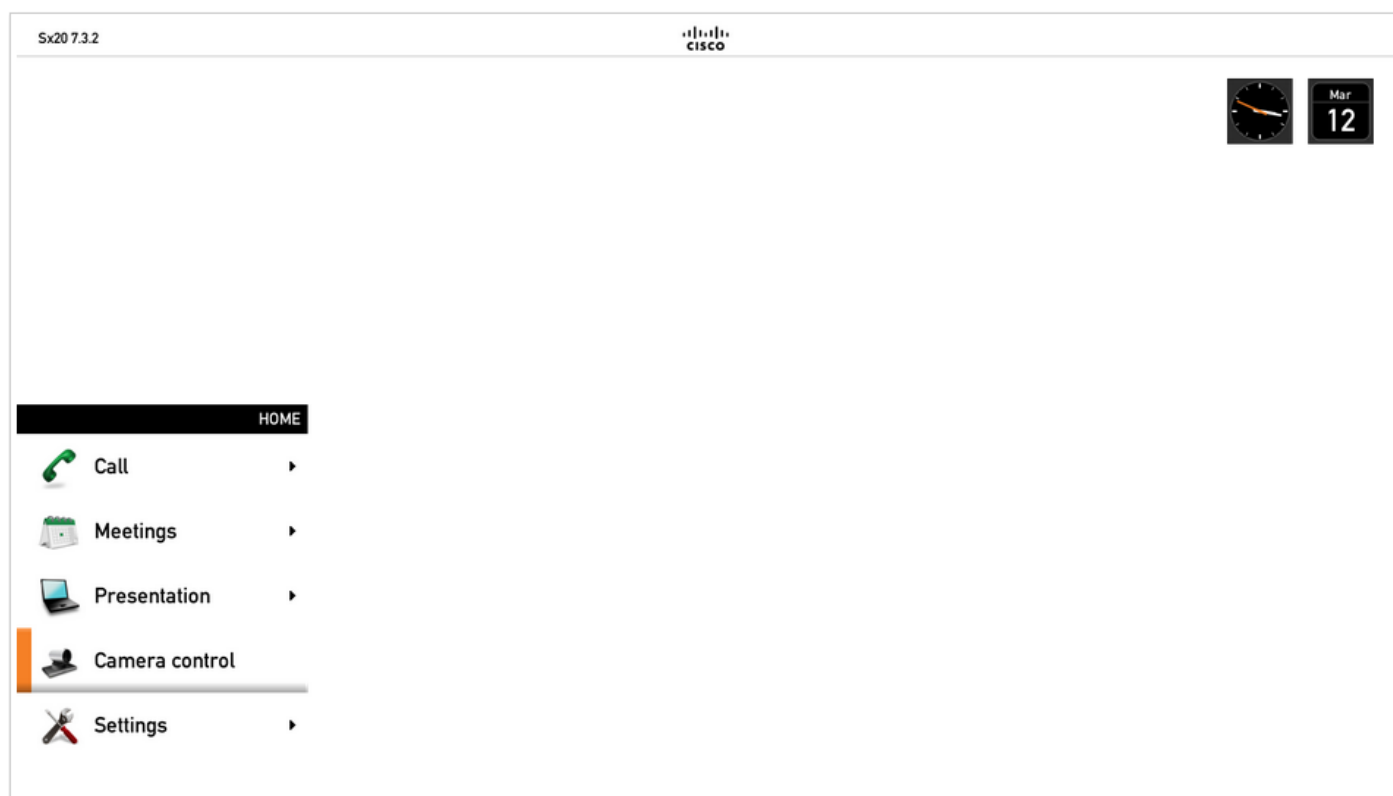
本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。ネットワークが稼働中の場合は、すべてのコマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 設定

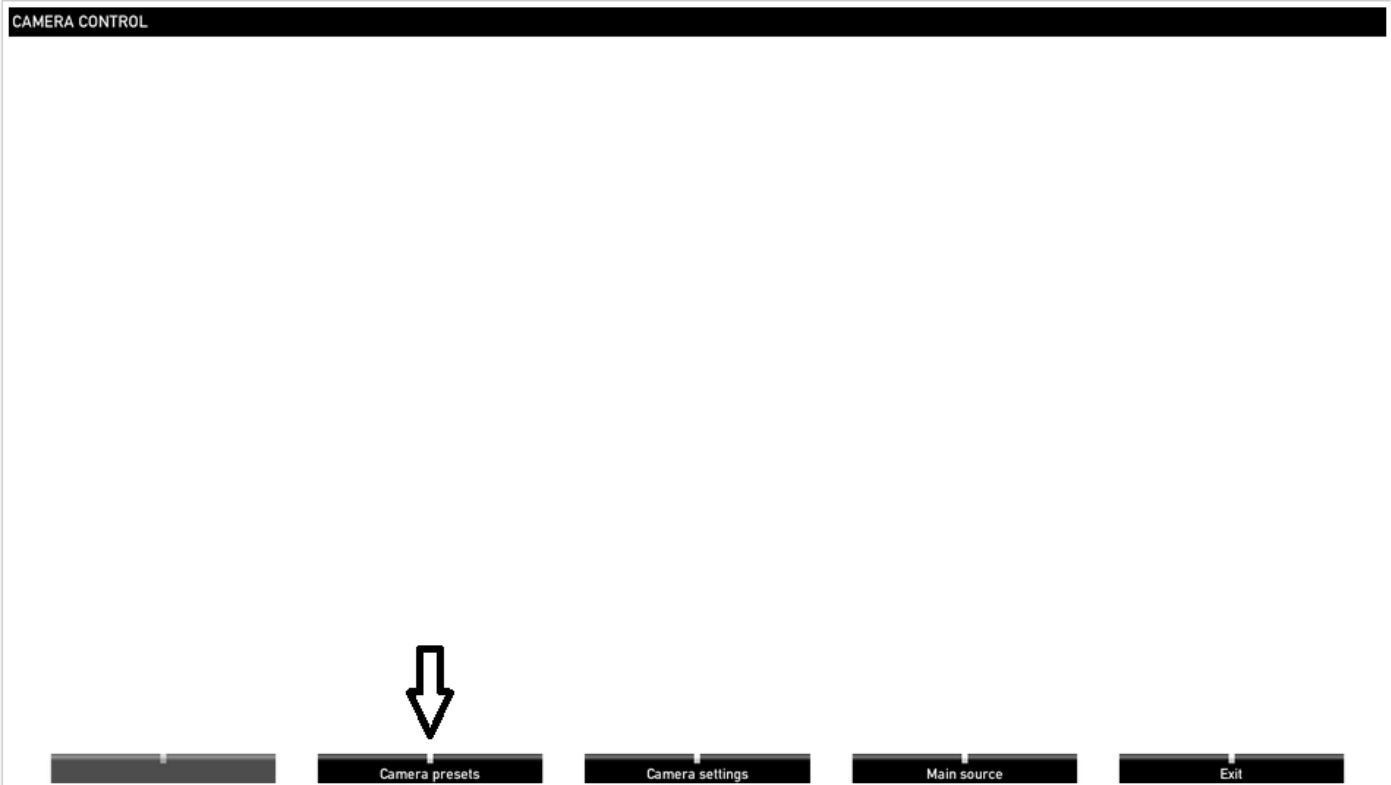
### オプション 1： ハンドヘルド リモートコントロールを使用したプリセットの設定

リモート コントロールを使用してプリセットを設定する手順を次に示します。

ステップ 1： リモートの [Menu] ボタンをクリックします。



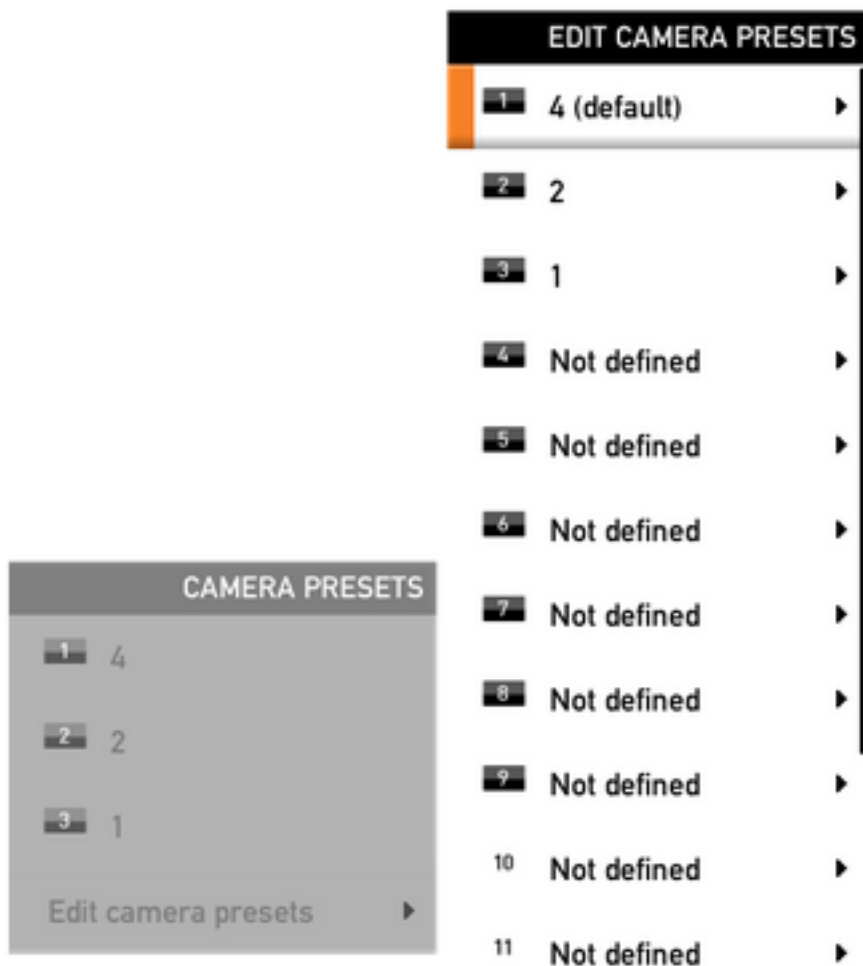
ステップ 2： 上記の [Menu] から [Camera Control] を選択します。



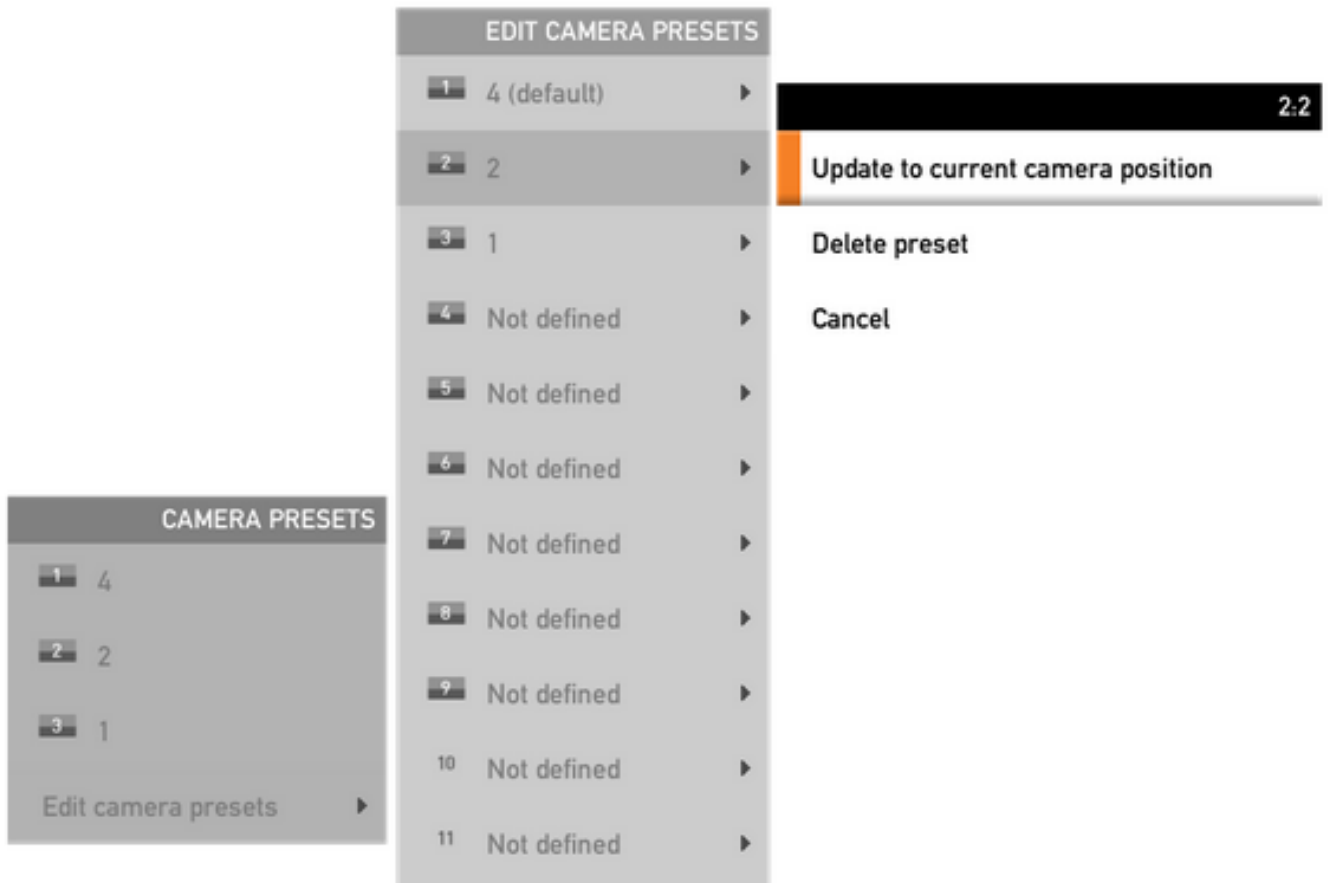
ステップ 3 : カメラを希望する位置に移動し、リモートを使用して [Camera Preset] オプションを選択し (このオプションはディスプレイ下部に表示されます)、カメラの位置を名前または番号で保存します。



ステップ 4 複数のプリセットで多数のカメラ位置を保存できます。



ステップ5また、プリセットをリセット/削除するには、事前に保存されている値を選択します。



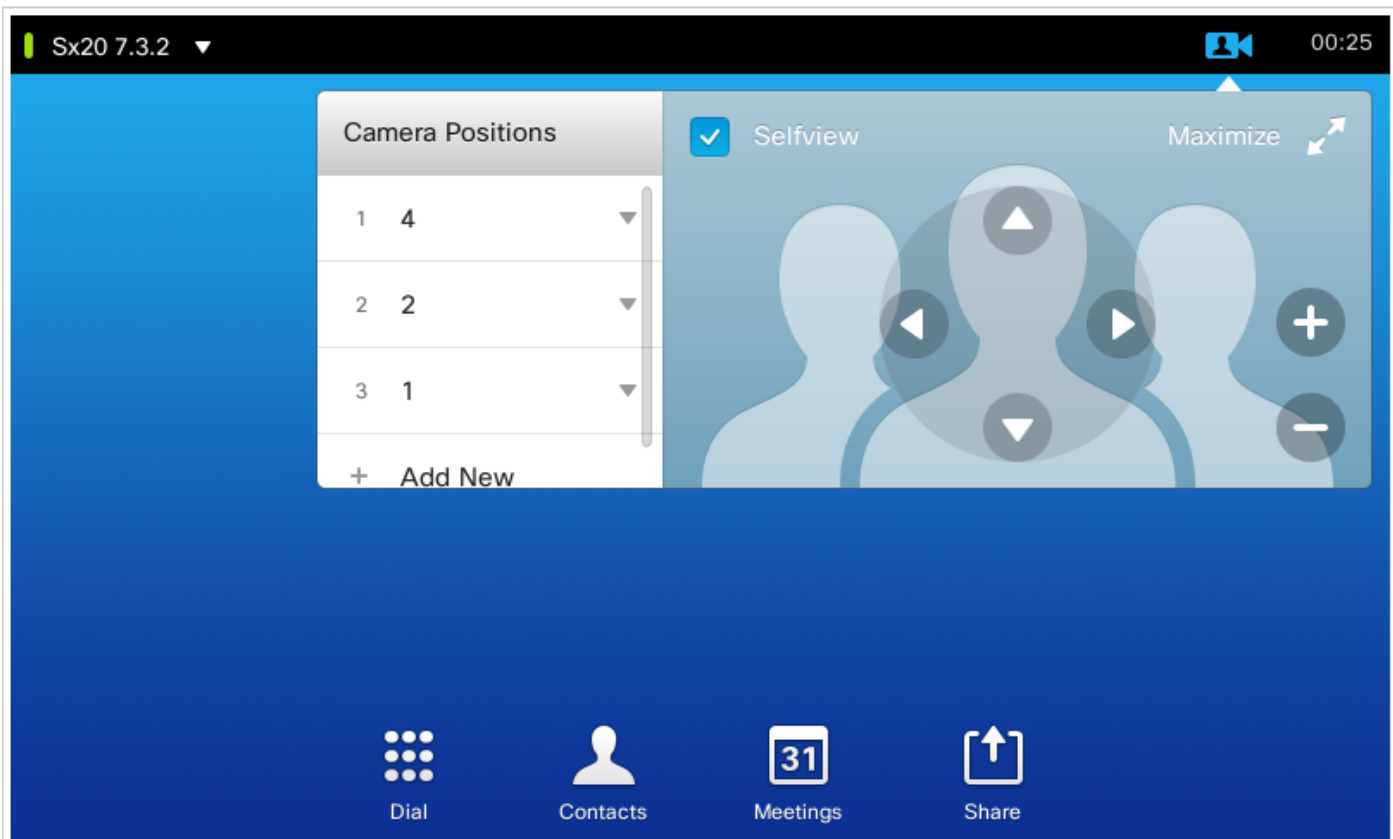
注: 複数のカメラが接続されている場合、プリセットは接続されているすべてのカメラの値を保存します。カメラプリセットが呼び出されると、すべてのカメラが保存されている位置に移動します。

これらのプリセットを呼び出す方法は非常に簡単です。リモートコントロールの [Preset] キーを使用して、これまでに保存したプリセットの中から使用するプリセットを選択するか、同じ [Camera Control] オプションを使用してプリセットの番号または名前を選択します。

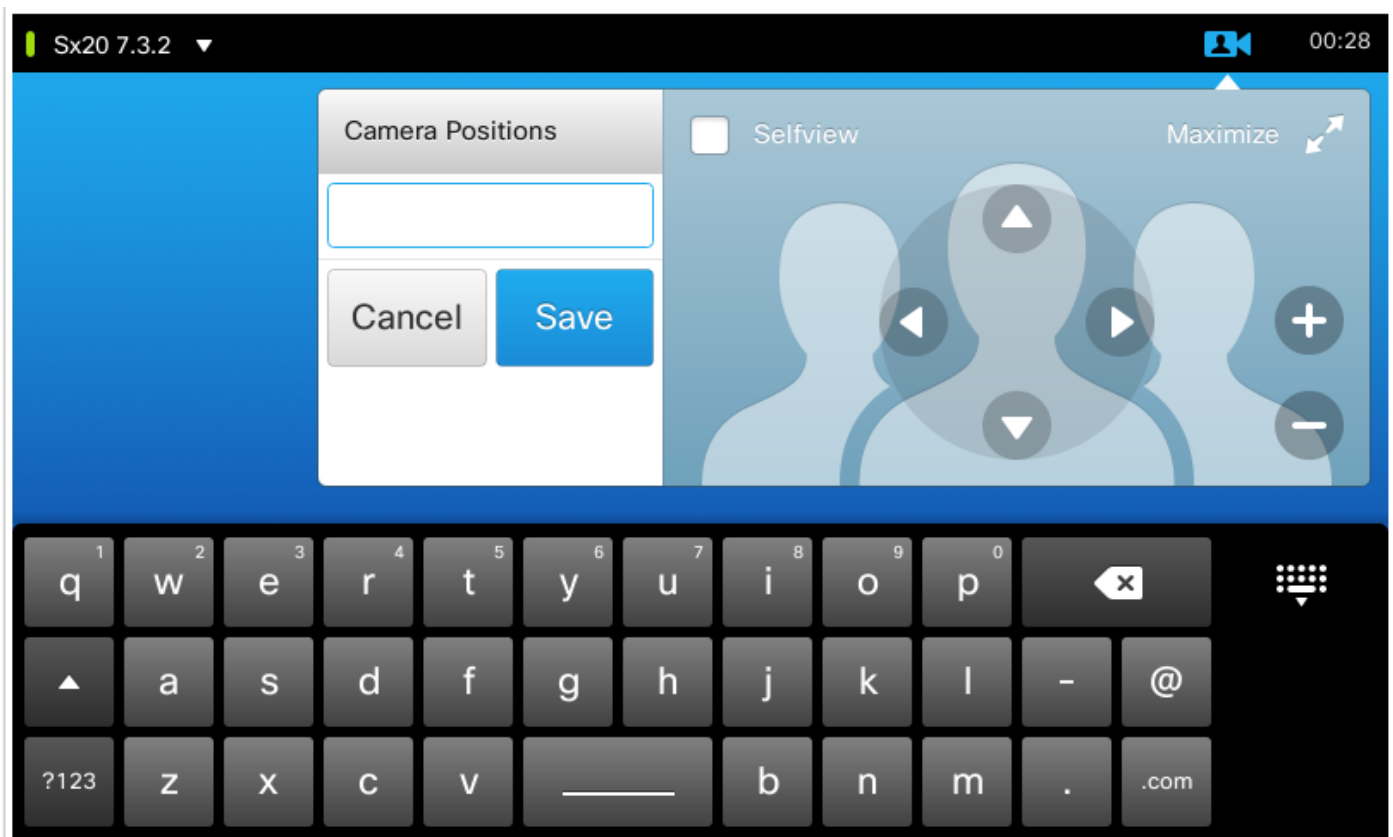
## オプション 2: タッチパネルを使用したプリセットの設定

### Touch 8 の使用

ステップ 1: タッチスクリーンの右上、時刻の右横に表示されている [Camera] アイコンをクリックします。



ステップ 2 : 矢印を使用してカメラを目的の位置に移動し、[Add New] をクリックします。

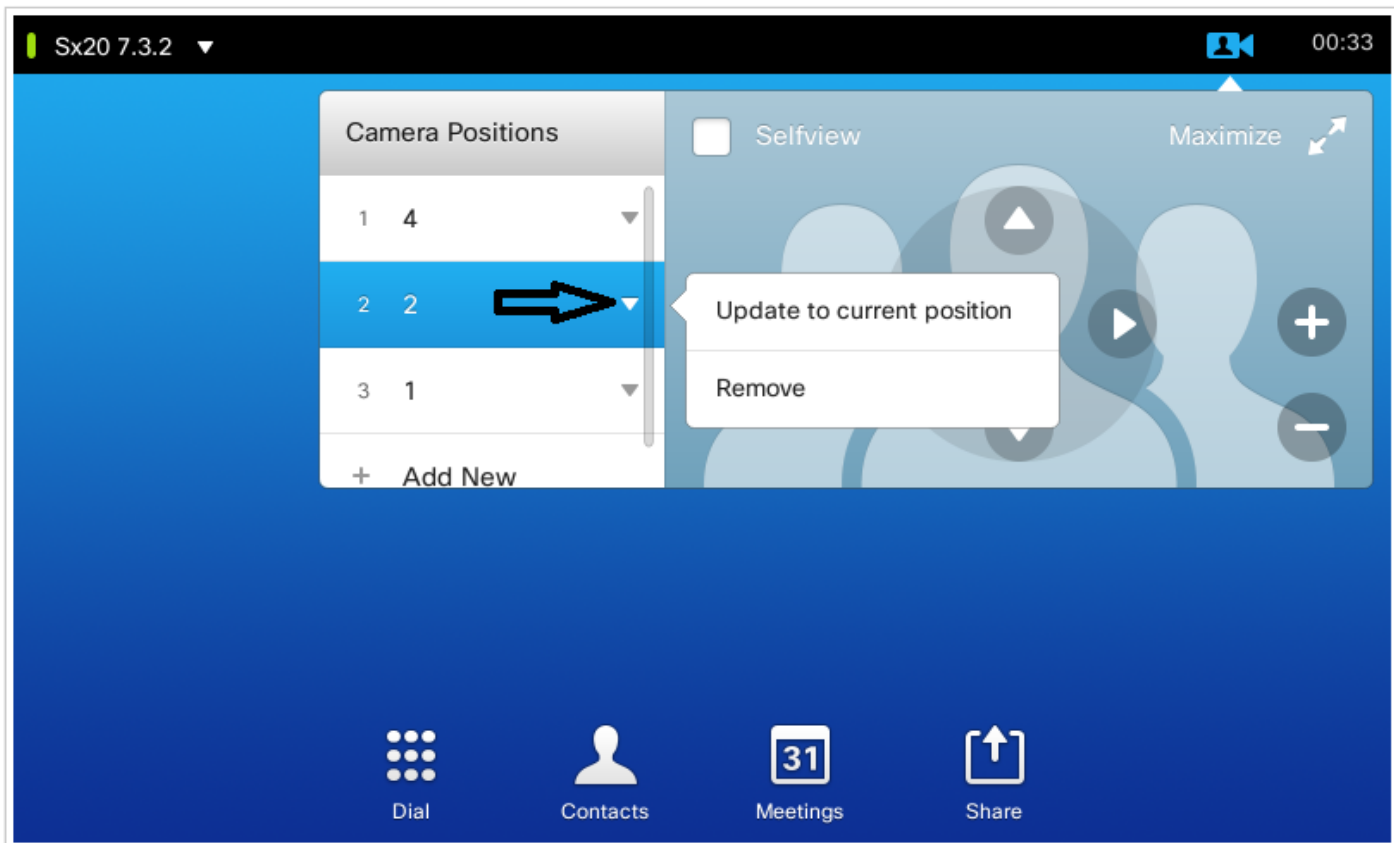


ステップ 3 : プリセットに値/名前を付けて保存します。

ステップ 4 プリセットを呼び出すには、保存済みのプリセットをクリックします。

ステップ 5 プリセットを削除/変更する場合は、プリセット値/名前の横にある下向き矢印を押し

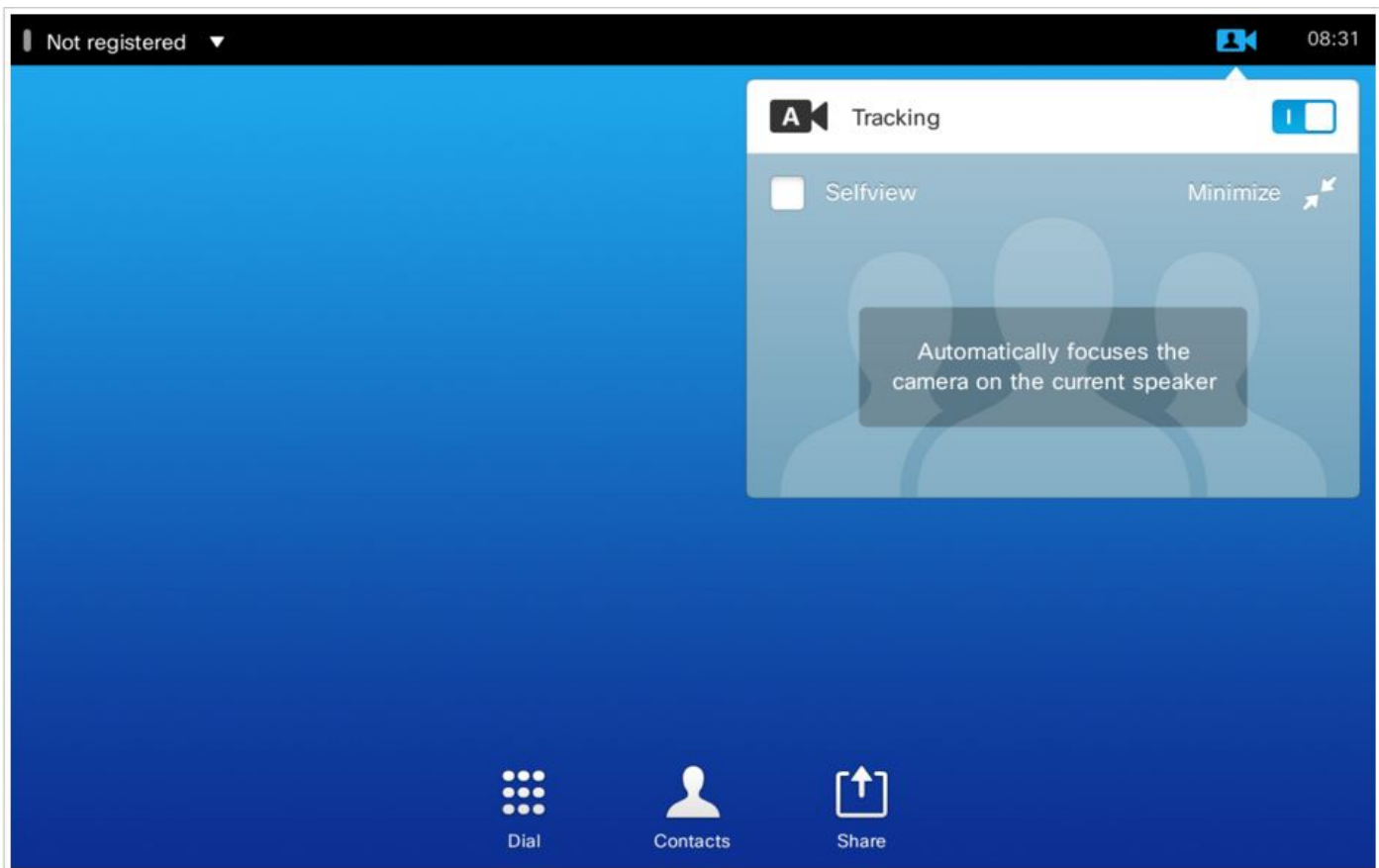
ます。



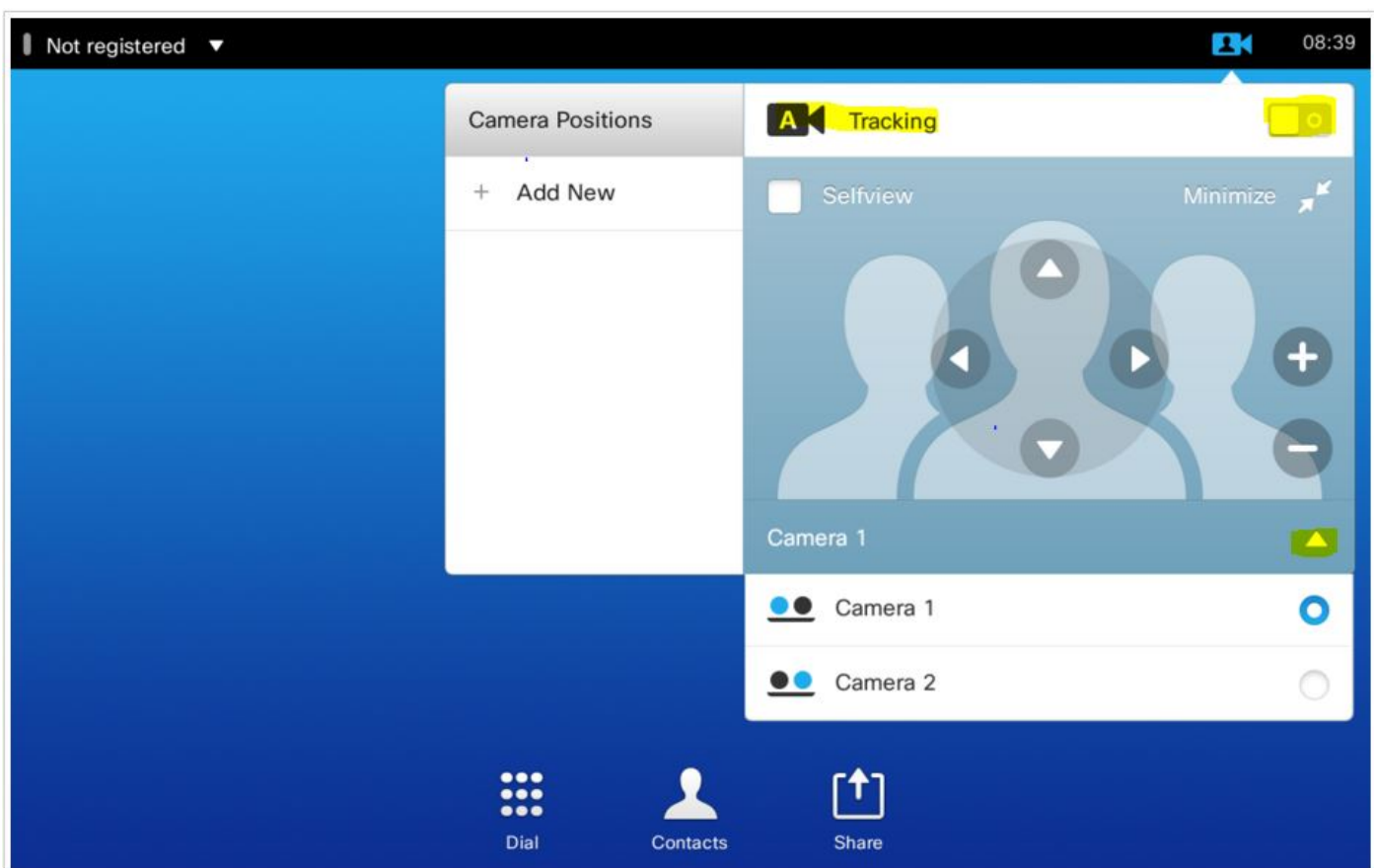
## Touch 10 の使用

このタイプのタッチパネルは、通常スピーカトラックが接続されている SX80 に採用されています。スピーカトラックは、現在発言中の通話者を追跡するため、プリセットを保存するオプションはありません。スピーカトラックカメラがないシステム（1台のカメラを備えた MX プロファイルなど）では、カメラプリセットの保存手順は前述の手順と同じです。

ただし、スピーカトラックが接続している場合、カメラのトラッキングオプション（タッチパネルの右上に表示）が有効になっているため、カメラ位置を制御または保存するオプションは表示されません。



トラッキングをオフにすると、カメラを個々に選択して移動できるオプションが表示されます。

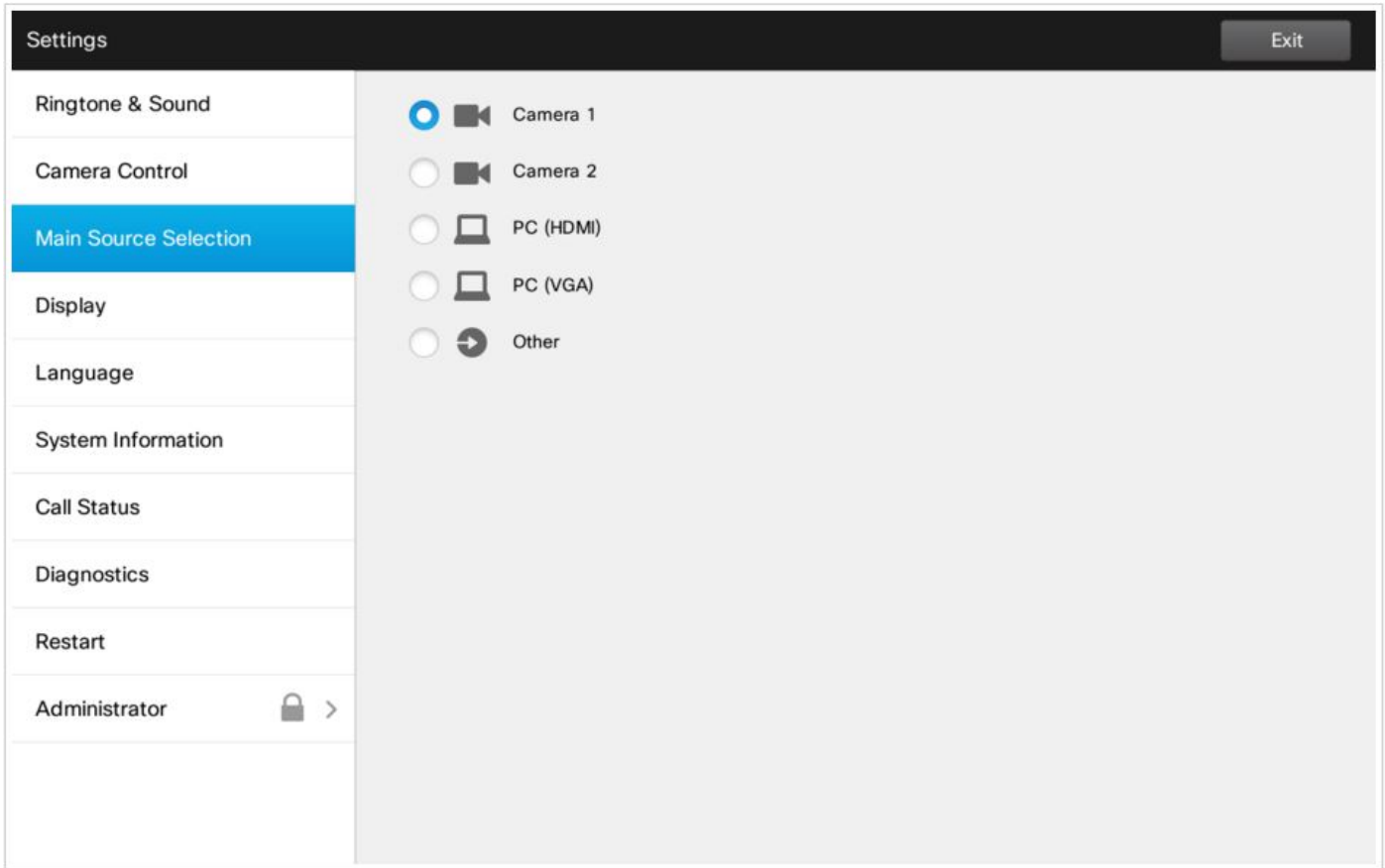


上記の Touch 8 の図に示すように、カメラ位置を保存できます。

注: 両方のカメラの位置が 1 つのプリセットとして保存されます。したがって、両方のカメ



ラを個別に異なる位置をポイントするように移動し、それらの位置を1つのプリセットとして保存できます。ただし、次に示すようにメインビデオソースの選択はタッチパネルから手動で行う必要があります。



### オプション 3 : CLI コマンドを使用したプリセットの設定

プリセットを保存、アクティブ化、削除するには、次に示すコマンドを使用できます。この情報は、すべてのソフトウェア/製品の API ガイドにも収録されています。

#### **xCommand Camera PositionSet**

パン、傾斜、ズーム、焦点のパラメータを指定してカメラを位置指定します。カメラがデイチェーンに配置されている場合、指定するカメラの Camerald を知っておく必要があります。

必要なユーザ ロール : USER

パラメータ :

Camerald(r) : <1..7>

パン : <-65535..65535>

チルト : <-65535..65535>

ズーム : <0..65535>

焦点 : <0..65535>

例 :

**xcommand Camera PositionSet Camerald: 1 pan:140 tilt: 140 zoom:4096 focus: 147**

### **xCommand Preset Store**

すべてのビデオ入力ソースのコネクタの選択、およびすべてのカメラの現在の位置を保存します。すべてのビデオ入力ソースおよびすべてのカメラの位置に関する情報が同一のプリセットに含まれることに注意してください。システムは、15の事前定義されたビデオ入力のプリセットを保持できます。これらのプリセットは相手先制御に使用できます。つまり、xCommand FarEndControl Preset Activate コマンドの PresetId パラメータでこれらのプリセットを参照できます。対照的に、xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。これらのプリセットは相手先制御には使用できません。

PresetId : このプリセットの ID。

Type: 現在、[Camera] と [All] のいずれを選択しても違いはありません。ただし今後これが変更される可能性があります (プリセットに他のオーディオ設定やビデオ設定が含まれる可能性があります)。プリセットがカメラ位置だけに反映されるようにするには、[Camera] を選択することが推奨されます。

説明 : カメラのプリセットの説明を入力します。

必要なユーザ ロール : USER

パラメータ :

PresetId(r) : <1..15>

Type(r) : <All/Camera>

説明 : <S: 0, 255>

例 :

**xCommand Preset Store PresetId:3 Type: Camera Description: ""Left view"**

### **xCommand Preset Activate**

保存されているローカルプリセットの1つをアクティブにします。

すべてのビデオ入力ソースと、すべてのカメラのパン、チルト、ズーム、およびフォーカスの値についての情報が同一のプリセットに含まれることに注意してください。対照的に、xCommand Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。

PresetId : アクティブにするプリセットの ID。

必要なユーザ ロール : USER

パラメータ :

PresetId(r) : <1..15>

例 :

**xCommand Preset Activate PresetId:3**

### **xCommand Preset Clear**

プリセットを削除します。

すべてのビデオ入力ソースと、すべてのカメラのパン、チルト、ズーム、およびフォーカスの値についての情報が同一のプリセットに含まれることに注意してください。対照的に、xCommand

Camera Preset コマンドは個々のカメラにのみ適用されます。

PresetId : 削除するプリセットの ID。

必要なユーザ ロール : USER

パラメータ :

PresetId(r) : <1..15>

例 :

```
xCommand Preset Clear PresetId:3
```

## 確認

プリセットは次のコマンドを使用することによって検証できます。

```
xstatus // preset
```

```
*s Preset 1 Defined: True
```

```
*s Preset 1 Description: "12345"
```

```
*s Preset 1 Type: All
```

```
*s Preset 2 Defined: True
```

```
*s Preset 2 Description: "1"
```

```
*s Preset 2 Type: All
```

```
*s Preset 3 Defined: True
```

```
*s Preset 3 Description: "ROOF"
```

```
*s Preset 3 Type: All
```

## トラブルシューティング

次のコマンドを実行して、カメラのステータスを確認します。

```
xstatus // camera
```

```
*s Camera 1 Capabilities Options: "ptzf"
```

```
*s Camera 1 Connected: True
```

```
*s Camera 1 DownloadProgress: 0
```

```
*s Camera 1 Flip: "Off"
```

```
*s Camera 1 HardwareID: "51000003"
```

```
*s Camera 1 IpAddress: ""
```

```
*s Camera 1 MacAddress: "00:50:60:83:E4:CD"
```

```
*s Camera 1 Manufacturer: "Cisco"
```

```
*s Camera 1 Model: "PrecisionHD 1080p 4X"
```

```
**s Camera 1 Position Focus: 4578
```

```
**s Camera 1 Position Pan: 421
```

```
**s Camera 1 Position Tilt: 121
```

```
**s Camera 1 Position Zoom: 8
```

```
*s Camera 1 SerialNumber: "XXXXXXXXXXXX"
```

```
*s Camera 1 SoftwareID: "S01718-4.0FINAL [ID:40084] 2014-10-08"
```

```
*s Camera 1 UpgradeStatus: なし
```

カメラ接続ステータスが False の場合、ケーブルを確認する必要があります。

コーデックがプリセットを呼び出すことができるかどうかを確認するには、次のコマンドを実行します。

```
log output on
```

どうぞ

517171.07 CuilApp User \_\_localtouchdevice\_\_(1002) about to execute command '/Preset/Activate PresetId: 1' from .  
517174.39 CuilApp User \_\_localtouchdevice\_\_(1002) about to execute command '/Preset/Activate PresetId: 3' from .  
517177.77 CuilApp User \_\_localtouchdevice\_\_(1002) about to execute command '/Preset/Activate PresetId: 2' from .

プリセットの呼び出し後に、次のコマンドを実行します。

**xstatus // camera**

\*s Camera 1 Capabilities Options: "ptzf"  
\*s Camera 1 Connected: True  
\*s Camera 1 DownloadProgress: 0  
\*s Camera 1 Flip: "Off"  
\*s Camera 1 HardwareID: "51000003"  
\*s Camera 1 IpAddress: ""  
\*s Camera 1 MacAddress: "00:50:60:83:E4:CD"  
\*s Camera 1 Manufacturer: "Cisco"  
\*s Camera 1 Model: "PrecisionHD 1080p 4X"  
**\*\*s Camera 1 Position Focus: 4573**  
**\*\*s Camera 1 Position Pan: 400**  
**\*\*s Camera 1 Position Tilt: 60**  
**\*\*s Camera 1 Position Zoom: 0**  
\*s Camera 1 SerialNumber: "XXXXXXXXXXXX"  
\*s Camera 1 SoftwareID: "S01718-4.0FINAL [ID:40084] 2014-10-08"  
\*s Camera 1 UpgradeStatus: なし

次に、カメラの位置が変更されたことを確認します。